

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] 総合計画の進行管理 (101)

[評価年月日] 平成12年12月12日

[主担当部課名] 企画課

[記入課名・課長名] 企画課長 天野 光敏

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策：計画を実現するための行政運営 (VI)

施策：総合計画を基軸とした県行政の推進 (1)

総合計画の目標項目：

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策：

2 基本事務事業を巡る環境変化(過去、現状、将来)

情報化、国際化、少子高齢化時代の到来等、近年の社会経済状況の変化は大きく、早急な対応が必要となっている。また、住民からの行政参画・情報公開等、住民意識・ニーズの高まり等に対応した行政運営が強く求められている。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたいのか)

住民、団体、企業、市町村等への総合計画の基本理念の定着と、生活者起点の県政を確立し、五つの目標で進める政策体系の実施、総合行政、広域行政の着実な推進を図る。

3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には＊を付す)

総合計画数値目標達成率

目標達成項目数／総合計画目標数値項目数 × 100

② 変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明(指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

総合計画の数値目標は、三重のくにづくり宣言の進捗状況を住民に明らかにするため設定されており、目標達成率はくにづくり宣言全体の進捗状況を表す有効な指標と考えられる。

3-(4) 結果(施策における2010年度の目標)

該当なし

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(H11年度)における基本事務事業の結果評価

①前年度に行った内容と成果

・平成10年度の数値目標の進捗状況を取りまとめ、公表するとともに、これを基に県内9カ所で県民懇談会を開催し県民の声を聴いた。

基本事務事業名：総合計画の進行管理

②前年度に残った課題

- ・実施計画の事業ごとの実績や計画について、各部局ごとには整理を行ったが、県全体としてのとりまとめを行うに至らなかった。

4-(2) 本年度（H12年度）における基本事務事業の見込み評価

①本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

- ・平成11年度の進捗状況を取りまとめ、公表した。
- ・県内6カ所で県民懇談会を開催し、進捗状況を説明し、県民の意見を聴いた。
- ・前年度の事業実績及び本年度計画のとりまとめを行っている。

②本年度残ると思われる課題

平成14年度からの計画期間が開始される第二次実施計画の策定作業へ向け、数値目標の見直しを行っており、平成13年度当初から数値目標のレベル設定及び実施計画の具体的な策定作業に入る。

5 基本事務事業の改革方向

2010年へ向け、「三重のくにづくり」を推進するために、より県民にわかりやすい進行管理に努めていく。

6 成果指標値及びコスト等の推移

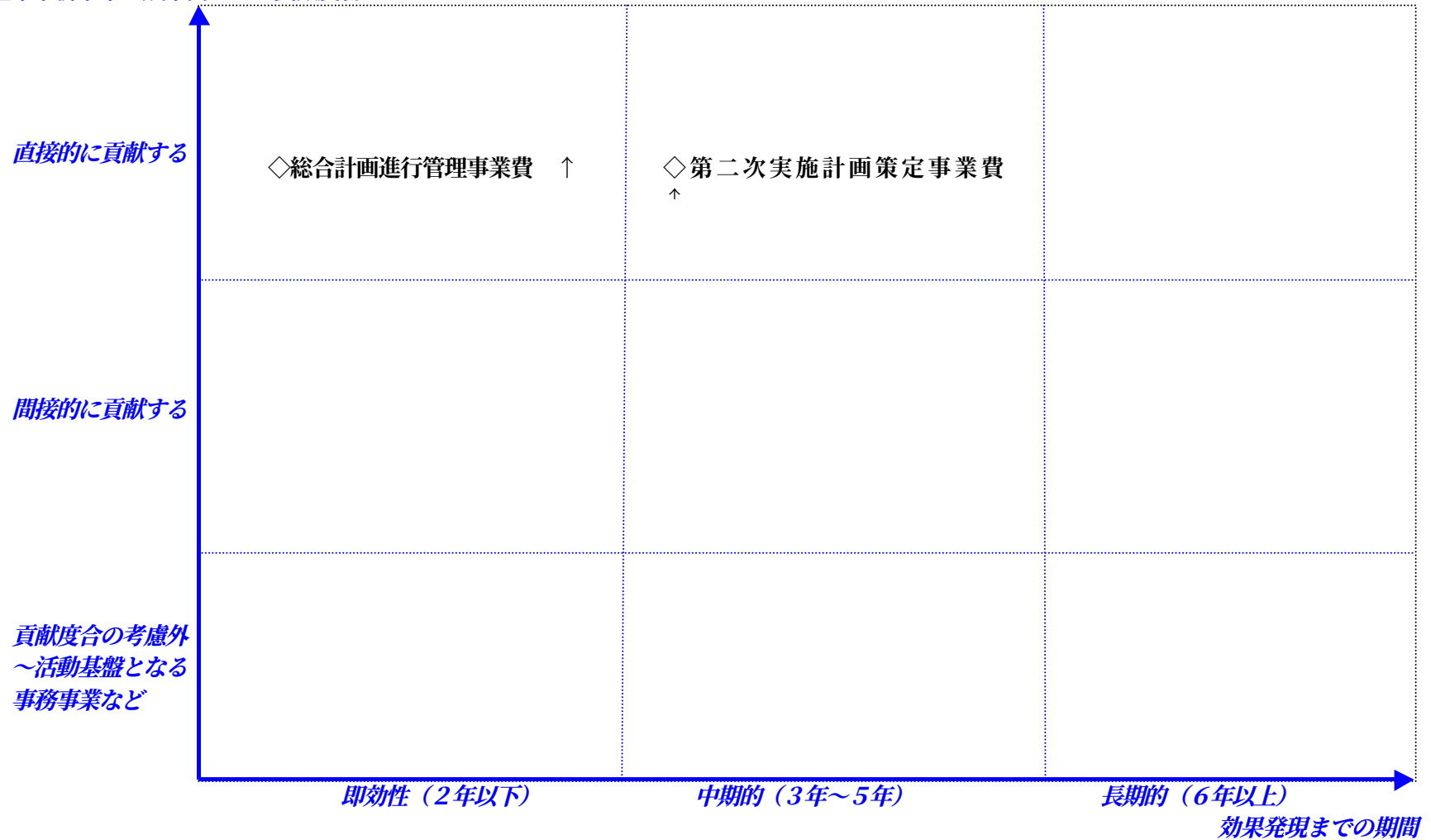
	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等（円）	必要概算 コスト（円）
	目 標	実 績		所要時間（時間）	
前々年度 （H10年度）	—	16.3	—	21,186 2,200	30,382
前年度 （H11年度）	—	23.3	—	3,012 1,900	10,897
本年度 （H12年度）	—		—	29,788 27,700	144,743
本年度補正後 （H12年度）	—		—	+（or▲） +（or▲）	+（or▲）
翌年度 （H13年度）	—	—	—	30,213 29,100	150,978
計画目標年次 （H13年度）	100	—	—	—	—

基本事務事業名：総合計画の進行管理

7 翌年度 (H13 年度) の基本事務事業における事務事業戦略プランシート (PPM : Project Portfolio Matrix)

<必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 ＊休止・廃止>

基本事務事業の成果向上への貢献度合



8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細
※ 新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

[illegible]